

「北名古屋市地域福祉計画」の策定にかかるパブリックコメントの結果について

市では、「北名古屋市地域福祉計画」の策定にあたり、計画の案作成に関し市民の皆さまから意見を募集（募集期間：平成27年12月16日から平成28年1月15日）いたしました。

お寄せいただきましたご意見等の趣旨を損なわないように要約させていただきましたので、ご了承をお願いいたします。

お寄せいただきましたご意見等の概要と、市の考え方については下記のとおりです。

項目	内容（要旨）	市の考え方	計画案への反映
IV-2-2 信頼される人づき合いを深めよう！	“「向こう三軒両隣」の再構築とともに、憩いの場としての喫茶店文化の活用”について、方向性がみえない。	「地域福祉」に必要なのは、家庭や地域の「絆」であり、“向こう三軒両隣”は根幹になるものと考えています。 また、地域の方が喫茶店でくつろぐ習慣を活用し、日頃自宅から出ない高齢者の見守りも検討します。	40頁「施策②市の取組」に「地域ふれあい食事会事業」を追加
IV-2-2 信頼される人づき合いを深めよう！	「登下校の防犯・見守り活動」での“地域住民の主体的な支援を受ける”とあるが、“主体的な支援”とはどういうことか。	登下校の見守りについては、「地域の子どもたちを地域住民で見守る」という考えがでてきており、強制ではなく、自主的に活動に参加していただいております。 引き続き、地域の住民と学校とが連携して子どもたちの学びをサポートしていきます。	39頁「施策②市の取組」中「登下校の防犯・見守り活動」の内容を一部修正
IV-2-2 信頼される人づき合いを深めよう！	市には、「救急医療情報キット」や「もしものときのハンカチ」という資材があるが、これらの資材は活用しないのか。	「救急医療情報キット」や「もしものときのハンカチ」は緊急時に役立つ資材と考えており、イベント等で周知に努めておりますが、引き続き、必要な方に普及できるよう周知に努めます。	39頁及び40頁「施策②市の取組」に「救急医療情報キット配布事業」及び「もしものときのハンカチ」配布事業」を追加